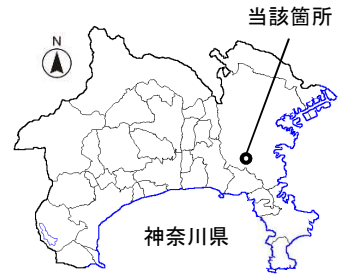
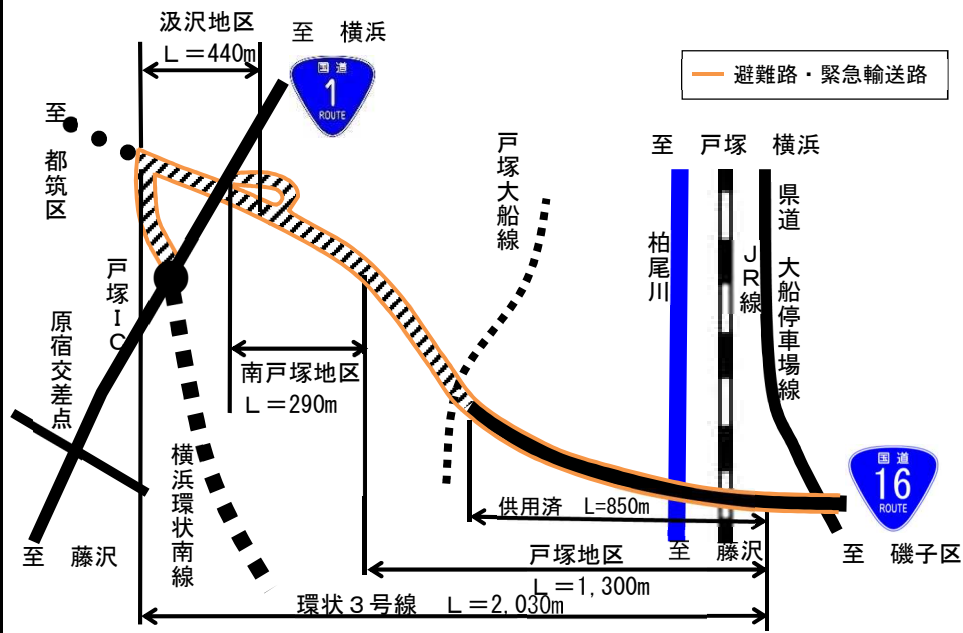


再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課
担当課長名：渡邊 浩司

事業名	都市計画道路 環状3号線（南戸塚地区）	事業区分	街路	事業主体	横浜市		
起終点	自：横浜市戸塚区戸塚町 至：横浜市戸塚区汲沢町			延長	2.03km		
事業概要							
環状3号線は、本市の幹線道路網の骨格となる環状道路の一つに位置付けられており、磯子区杉田五丁目から都筑区佐江戸町までの延長約28kmの重要な幹線道路です。本地区は、環状3号線と国道1号を接続する役割を持ち、当地区の完成により本市南部地域と湘南方面の連絡が強化され、交通利便性の向上が図られるとともに、交通の転換により周辺地域の住環境向上が図られます。							
S62年度事業化	S43年度都市計画決定	S62年度用地着手	S63年度工事着手				
全体事業費	約260億円	事業進捗率	約75%	供用済延長	0.85km		
計画交通量	20,900～28,800台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.9	総費用 (残事業)/(事業全体)	57 / 342 億円	総便益 (残事業)/(事業全体)	302 / 647 億円	基準年 平成25年
	(残事業)	5.3	事業費	54 / 340 億円	走行時間短縮便益	334 / 664 億円	
			維持管理費	3 / 3 億円	走行経費減少便益	-19 / -4 億円	
					交通事故減少便益	-13 / -13 億円	
感度分析の結果							
(事業全体) 交通量 : B/C=1.0～2.7(交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=1.7～9.5 (交通量 ±10%)							
事業の効果等							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道16号から国道1号までの本市南部地域の交通機能が強化され、災害時の緊急輸送道路としての効果が期待される ・ 横浜環状南線（仮）戸塚ICへのアクセス向上が図れる 							
関係する地方公共団体等の意見							
・ 横浜市中期4か年計画（2014～2017）において、「施策27 交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」の主な取り組みとして、都市計画道路の整備が位置付けられている。							
事業評価監視委員会の意見							
事業継続を妥当と認める。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
磯子区の国道16号から当該地区までの約9.7km区間が完成しており、国道1号との接続が急務となっている。							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
用地取得率約83%、事業進捗率約75%							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、構造物築造工事を推進していく。							
施設の構造や工法の変更等							
設計の段階から可能な限りコスト縮減に努め、建設発生土の工事間流用を行い処分費等のコスト縮減に努めます。							
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	本事業の実施により、国道1号に接続されることで、本市南部地域の交通機能が強化され、沿道地域の活性化や物流の円滑化が期待され、これまで住宅地域に入り込んでいた通過交通が環状3号線に転換することで、住宅地域の安全性が高まるため。						

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。